

APRU Undergraduate Leaders' Program 2018

参加報告書 (Participation Report)

2018年 7 月 23 日

所属/ Affiliation : 人間科学部人間科学科 3年

出張期間 (Period of trip)	2018年7月8日～7月19日
開催期間 (Period of Program)	2018年7月9日～7月18日
開催場所 (Place)	シドニー大学 オーストラリア
開催規模 (Scale)	参加国数(Number of participating countries) 11 参加者数(Number of participants) 45
プログラムの 背景・目的 (Background and the objective of the meeting)	シドニー大学において開催された今回のAPRUにおいてはLeadership for Goodというスローガンが掲げられました。その名の通り、良き指導者となるためにはどうすれば良いか、どのような資質が良き指導者には求められるのか、という問いに対する答えを探すための会議でありました。その問いへの答えを、環太平洋地域の国々が直面する諸問題の観点からアプローチすることを目的としていました。
プログラム 内 容 (Program Contents)	プログラムのメインとしては、最終日に行われるグループごとのポスタープレゼンテーションが挙げられます。SDGsのゴールの中から一つを選び、その課題に関するファイナルプレゼンテーションを行うことが各グループに与えられたアサインメントでした。またその間、リーダーシップや食糧問題、研究手法などに関するレクチャーやディスカッションが行われました。
所 感 (Feedback on the Program)	プログラム期間のあらゆるイベントは全て英語で行われました。これはこれまで英語を「学ぶ」ことを重視していた私にとって「学ぶ」ことから英語を「使う」ことへのシフトを経験したことを意味しました。ディスカッションの内容のレベルが高いのはもちろんのこと、そのようなディスカッションを英語で行ったことは私にとって非常に大きな刺激となり、これまでは経験することの無かった新しい世界を見たような気分になりました。 シドニー大学での授業の特徴としては、授業中の少人数でのディスカッション及び代表者による発表、グループワークが多かったことが挙げられます。また授業中に講師の方が発言されている最中でも生徒が自分の意見を述べたり、と双方参加型の授業形式により積極的な議論が行われていたことが印象に残りました。先に述べた良き指導者となるために求められるリーダーシップとして、特に Culture Competence という概念が強調されていました。グローバル化する世界において文化の違いに起因する衝突や対立が懸念される中、互いの違い、多様性を認めることは優先して求められる課題の一つであります。今回の APRU においては環太平洋地域から 10 を超える国々の学生が集まりました。その中で互いの文化の違いに触れることも多く、またそのような環境の中において共存を模索する姿勢を堅持することの大切さを学びました。 グローバル化する世界において様々な課題が出現していますが、常により良い世界を目指す姿勢を持ち続け、今回の APRU において得た経験を将来の為に生かすことができるよう、今後とも努力する所存です。